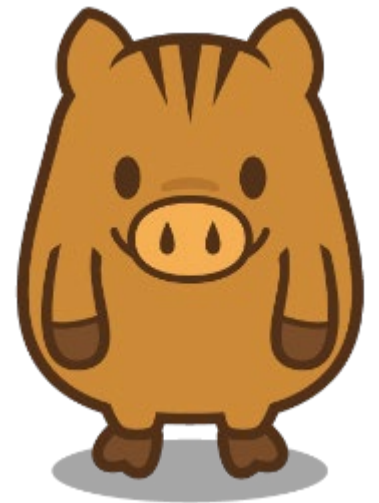




2026. 6. 13

神戸大学と農学部 (農学研究科)

神戸大学
農学部長・研究科長
白井 康仁



Vision

知と人を創る

異分野共創研究教育グローバル拠点を目指して

神戸大学は、開学以来、港湾都市である神戸の地で、「**学理と実際の調和**」を建学の理念とし、「**真摯・自由・協同**」の学風のもと、真理の探究と社会実装を旨として学問の継承と発展に寄与しています。



神戸大学 11学部, 15大学院



学部

文学部
国際人間科学部
法学部
経済学部
経営学部
理学部
医学部
工学部
農学部
海事科学部
システム情報学部

大学院 (博士課程前期課程, 後期課程)

人文学研究科
国際文化学研究科
人間発達環境学研究科
法学研究科
経済学研究科
経営学研究科
理学研究科
医学研究科
保健学研究科
工学研究科
システム情報学研究科
農学研究科
海事科学研究科
国際協力研究科
科学技術イノベーション研究科

学生数: 16, 214人
学部学生: 11,543人
大学院学生: 4,671人
教職員数: 4, 206人

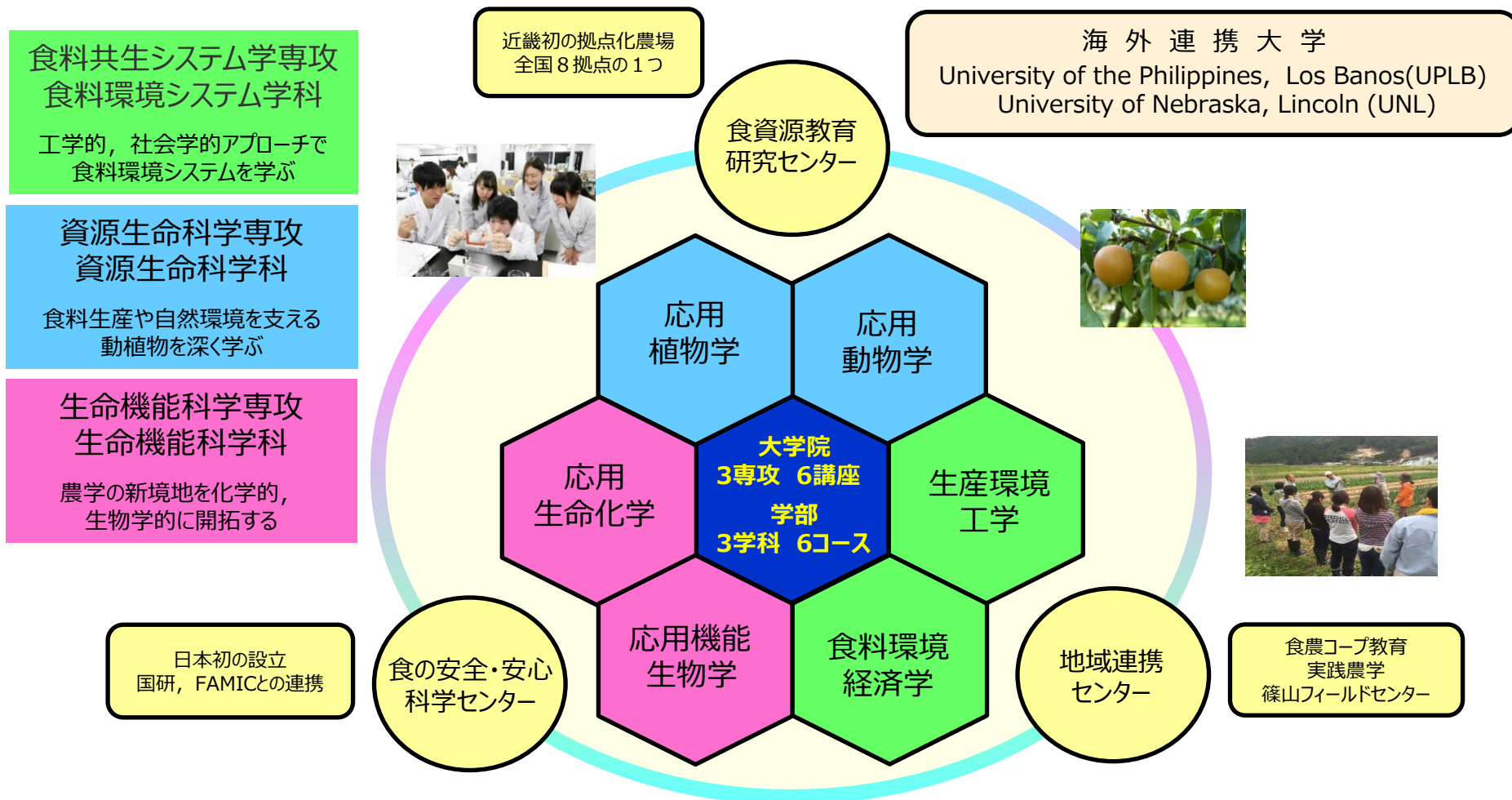
2025年5月1日現在

学生数(農): 1,051人
B: 709人, M: 268人, D: 74人
教職員数(農): 約 110人

2026年5月1日現在

先端研究の臨場感のなかでの専門教育 ～農学部・農学研究科～

Sustainable Agriculture and Human Health –From Farm to Table –



グローバル化の推進

- ◇ 海外英語演習 (UPLB, UNL)
- ◇ 外国人向けグローバルマスター/ドクターコース
- ◇ 招聘外国人による英語プレゼンテーション講義
- ◇ さくらサイエンスを通じての留学生との交流



戦略的連携と卓越した教育研究成果

- ◇ 兵庫県農林水産技術総合センターとの連携
- ◇ FAMICとの連携講義
- ◇ 技術者継続教育JABEE，樹木医の輩出
- ◇ 国家公務員総合職(農学Ⅱ) 合格者数全国1～3位

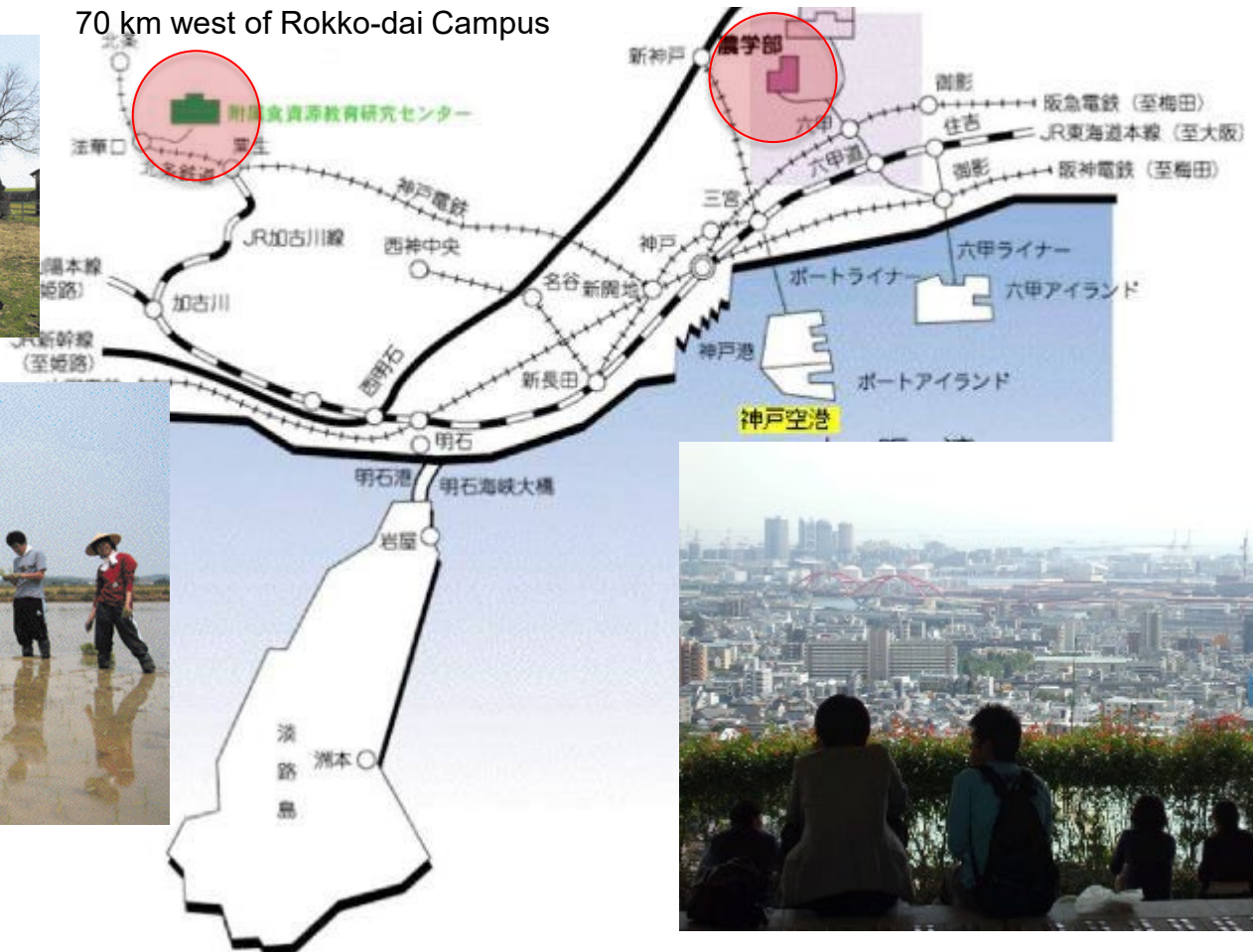
附属食資源教育研究センター

Food Resources Education and Research Center (experimental farm) in Kasai City

Food Resources Education and Research Center
70 km west of Rokko-dai Campus



Graduate School of Agricultural Science
in Rokko-dai Campus



食資源研究教育センター

- 農場と食卓をつなぐフィールド教育拠点に再認定
(2014年～2028年)
- 12大学延べ512人の学生に実習
- 売上過去5年間最高額(66,754千円)
- 地域連携センターと共同して、社団法人フードコミュニティ(神戸大学マルシェ)を設立



KOBE UNIVERSITY

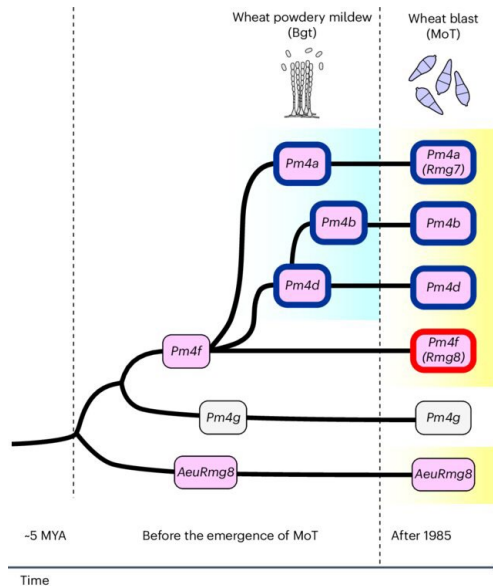
Integrated Report 2025



研究 (例1)

① コムギいもち病抵抗性遺伝子によるうどんこ病の認識

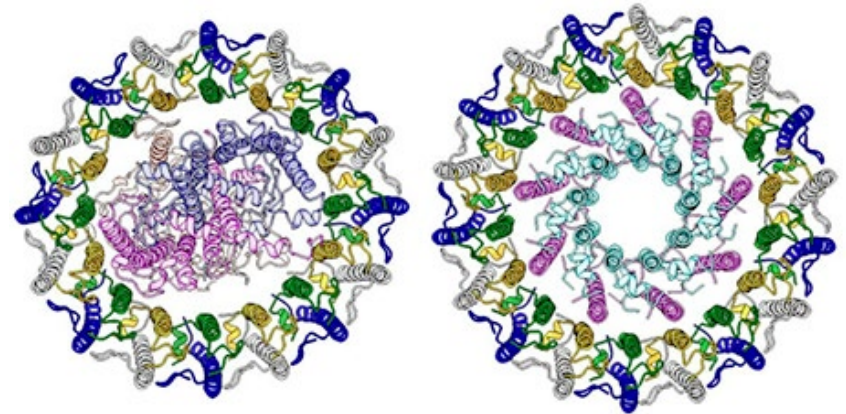
世界で初めてコムギいもち病に対する抵抗性遺伝子Rmg8の単離に成功した。Rmg8の導入により、国内の主力コムギ品種の抵抗性を強化した。SATREPS国際共同研究により世界のコムギ品種の抵抗性強化を試みている。



Nature Plants
(Vol. 10: 971–983, 2024. IF: 13.6)

② 高塩濃度・高アルカリ環境に棲息する紅色硫黄細菌の光合成機構を解明

紅色硫黄細菌が行う光合成において重要な役割を担う特殊なタンパク質複合体の構造が、エネルギー変換能力を向上させることが示唆された。

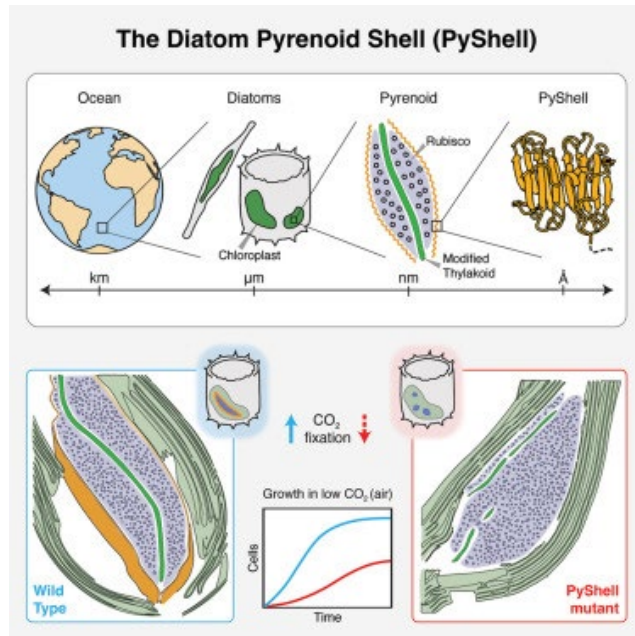


Nature Communications
(Vol. 187: 5919–5934, 2024. IF: 45.5)

研究 (例2)

③ 高効率CO₂固定を可能にする珪藻類のタンパク質

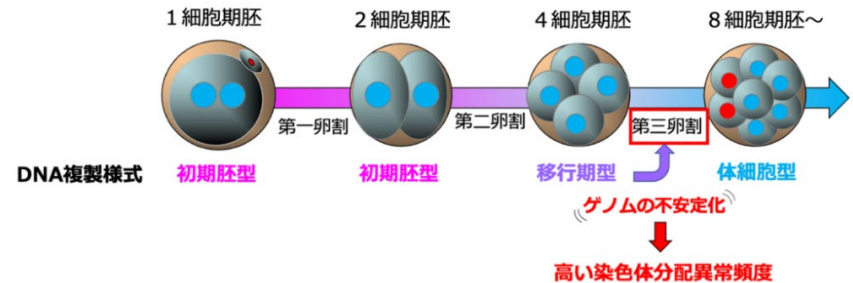
Pyrenoid Shell (PyShell)と呼ばれる格子状のタンパク質を発見し、これが珪藻ピレノイドをシート状に覆う構造を形成することで、珪藻の高い光合成効率を実現していることを明らかにした。



Cell
(Vol. 187: 5919–5934, 2024. IF: 45.5)

④ マウス初期胚の型破りなDNA複製様式

哺乳類初期胚におけるDNA複製様式の成立過程に関し、従来より課題となっていたゲノム不安定性の起源を明らかにした。この知見は、胚が発生の初期に固有のリスク管理機構を必要とすることを示唆する。



Nature
(Vol. 633: 686–694, 2024. IF: 50.5)

世界展開力強化事業

R5.10-R10.3 (約1.3億)



UNL



UW



GT

「食」を通して持続可能な世界を実現するグローバル人材育成のための異文化共修型国際プログラム



WU



UPLB



神戸大学

情勢不安・人口増加
気候変動・高齢化

食糧問題
(質的・量的)
エネルギー問題

1000人規模
のグローバル
人材の創出

異なる食文化・食経験
食の安心・安全に
対する考え方の違い
異なる農林水産業

地形・気候の違い
社会的成熟度の違い
文化・宗教の違い

パートナー校

ネブラスカ大学リンカーン校 (UNL)

・日本と異なる大規模な農業を展開する米国の中でも農業州であるネブラスカの中心大学

ワシントン大学 (UW)

・医学・林学・海洋学・経済学などどの分野においてもトップクラスの大学である

ジョージア工科大学 (GT)

・世界有数の大学であり、エネルギー問題に強い

ウエスタン大学 (WU)

・カナダの総合大学、教育学部などに定評がある

フィリピン大学ロスバニョス校 (UPLB)

・日本と異なる未成熟な農業を展開している地域において、イネなどの世界的研究を展開

目的

エネルギー問題や温暖化など地球規模の課題に対して、身近な「食」を通して異文化協働・異分野共創等の豊富な経験を積み、世界的観点で俯瞰的に物事を捉え、課題解決に繋げるSDGsに資する人材を育成する

事業概要

遠隔講義 (ハイブリッド含む) やJV-campusと、現地英語研修を組み合わせた初級から上級までの質の保証を伴ったsystematicな16プログラム

- ・複数の大学が参加できる共修プログラムやダブルディグリープログラム
- ・MDグローバルコース及びMD一貫共修プログラムなどの英語講義
- ・メタバースを利用した食のプログラム及びサミット (国際会議)
- ・様々な違いを学び新しい価値を生み出すサマースクール (20人/年)
- ・産官学が一体となった長期インターンシップ (10人/年) など

アウトカム

- ・本プログラムを通して英語力と国際コミュニケーション力を涵養し、**複合的視点を持ったグローバル人材**を育成する
- ・問題を的確に理解し、その解決法を自ら考えられる人材を育成する
- ・コンソーシアムを創生し、**日本から世界に発信できるリーダー**を育成する
- ・中期留学やDDプログラムを通じた**国際競争力のある研究者**を育成する
- ・外国人学生から**日本との懸け橋となる人材**を育成する



16のプログラム

① 初級及び中級日本語講座
(ハイブリッド/1 or 2単位)

③ 日本学サマースクール基礎編
(10日間/修了証)

⑤ JV-Campus (オンデマンド講義)

⑧ 食の安心・安全に関するコース(8コマ/学部2,3年/1単位)

⑨ 産官学におけるインターンシップ
プログラム(1カ月/修了証)

⑫ GTによるサマースクール(週6時間・5週間/学部・修士・2単位)

⑬ グローバルコース(マスター・ドクター)

⑭ 食の共修プログラム(MD一貫)

② 留学へのいざない
(ハイブリッド/学部1年/1 or 2単位)

④ UPLBでの英語研修
(3週間/学部1, 2年/2単位)

⑥ シアトルでのインターンシップ
(2週間/学部1-3年/修了証)

⑦ 食と健康
(ハイブリッド/学部1,2年生/2単位)

⑩ UNLによる講義(遠隔/学部3年/2単位)

⑪ UNLでの実地英語研修
(2週間/学部2, 3, 4年/2単位)

⑮ UPLBプレゼンテーション演習
(修士1, 2年/2単位)

⑯ UNLとの中長期交換留学プログラム
(MD)

農学部・農学研究科における英語教育

- ① UPLBでの語学研修 (3週間/学部1, 2年)
- ② 基礎専門英語 (1セメスター/学部1, 2年)
- ③ UNL教授による講義 (遠隔/学部3年、修士)
- ④ UNLでの農学英語研修 (約2週間/学部2, 3, 4年)
- ⑤ GT教授による集中講義 (1週間/学部3,4, 修士)
- ⑥ UPLBによる Comprehensive Course on Research Proposal Writing and Oral Presentation
Comprehensive Course on Research Proposal Writing and Oral Presentation
(修士1,2年)
- ⑦ 中長期研究留学 (UCSD, UNL)

ネブラスカ(UNL) 大学



UNL農学英語コース

2025 09/12-9/28

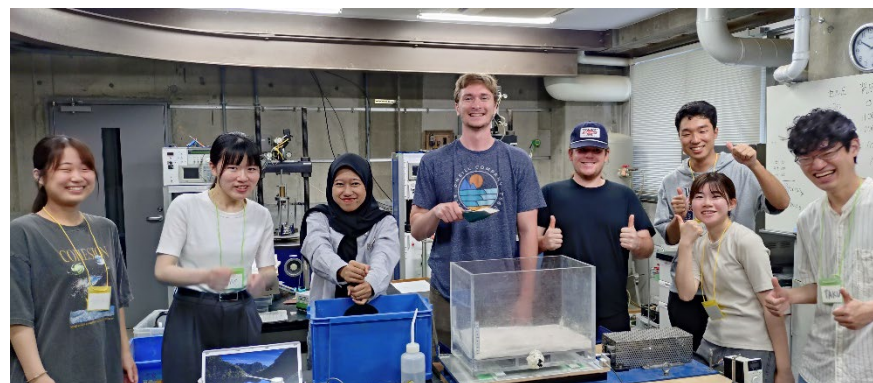


Agricultural Science & engineering

Summer school

- 第1週 日本語 & 日本文化
- 第2週 GT & UNL 教授による講義 (共修)
- 第3, 4週 ラボ体験・工場見学・発表

2025 06/2-06/27





神戸大学



ぜひ、神戸大学の卒業生を
宜しくお願いします